



霧島市立 横川中学校

生徒数 75 人
学級数 5 クラス



《テーマ》人権尊重の精神を基にした教育活動を推進し、あらゆる偏見や差別をなくし、互いのよさを認め合おうとする意欲と実践力をもった生徒を育成する。

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
本校では人権尊重の精神を基に、生徒一人一人の力を伸ばす教育活動を行ってきた。人権に対して更に理解を深め、自尊感情を育み、学校全体で人権教育に取り組む組織づくりに向けて、本テーマを設定した。	4月10日(月) 職員研修(研修計画確認) 8月21日(月) 職員研修(人権同和教育課指導主事) 「なくそう差別築こう明るい社会」を用いた研修 10月30日(月) 職員研修「人権旬間に向けて」 (学年ごとのテーマ研修) 12月7日(木) 職員研修「人権集会・研修」 (人権集会及び職員研修での振り返り)

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 子ども人権セミナー

3年に1回「子ども人権セミナー」として生徒・職員・保護者参加で講演を開催している。今年度は「ネット依存」について学習した。

□ 人権標語の作成

人権学習を通して感じたことを「人権標語」として表現し、生徒玄関に掲示している。互いの作品を見比べ、人権意識の高揚につなげている。

□ 人権集会

人権集会に向けて4月から計画的に取り組んでいる。
 10月下旬からは学年ごとにテーマを決め生徒主体で調べて発表につなげている。
 (学級で発表→全体は、各学年15分で発表)
 1年「いろいろな人権」
 2年「北朝鮮当局の拉致問題」
 3年「同和問題」



【人権旬間に向けた話し合い】



【各学年で発表する人権集会】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- これまで続けてきた取組に加えて、専門的な指導・助言が加わり、生徒も職員も広い視野でテーマへアプローチすることができた。人権集会で発表した生徒たちは、講評を聴いて、さらに人権意識の大切さを学ぶことができた。
- 今後は保護者や地域へも呼びかけて、地域全体で人権について考える機会を生み出していきたい。